

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-3981-4201

附属機関又は 会議体の名称		平成 22 年度 政策経営会議（第 8 回）
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		平成 22 年 9 月 7 日（火） 午後 5 時 00 分～6 時 00 分
開催場所		区長応接室
議題		1. 国際興業池 07 路線延伸について 2. 新型インフルエンザワクチン接種助成について
公開の 可否	会 議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第 7 条各号に掲げる非公開情報に該当する事項について審議等を行うため。
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委 員	区長・副区長・教育長・政策経営部長・総務部長・施設管理部長（欠席）・企画課長・財政課長・行政経営課長・区長室長
	説明者	交通対策課課長、土木部長、道路管理課長、健康推進課長、池袋保健所長、健康担当部長
	事務局	企画課企画担当係長

審議経過

NO. 1

案件 1 : 国際興業池 0 7 路線延伸について

(1) 案件の説明

本年 4 月に、国際興業バスが運行している池 0 7 路線（池袋駅と江古田二又間を運行）の廃止申請が国土交通省に提出されたが、国際興業バスより豊島区からの財政支援を条件に新たな東口への路線延伸の提案が出されたため、その提案内容について受け入れたい。

(2) 主な意見と質疑

副区長：これまで進めてきたコミュニティバスとの位置づけをどうするか。コミュニティバスの一路線なのか、それとは別な路線バスの一路線なのか位置づけを明確にしたほうがいいのかではないか。

説明者：これまで検討を進めてきたコミュニティバスの 4 つのコンセプトのうち 2 つを補完できるものであり、コミュニティバスの代替として整理したい。

委員：路線バスがコミュニティバスの機能を担うということか。

説明者：実質的にはコミュニティバスと変わらない。シルバーバスとの関係があり、あくまでもバス事業者が自主的に運航するバスである。

委員：こういう社会実験を行いながらコミュニティバスの可能性を今後も検討するというものでどうか。一次凍結することになるが、その評価をもって今後のあり方を判断することになる。

区長：今回提案の路線は、健康プラザ、区役所、中央図書館、あうるすぽっとなど新しい施設をネットワークでつなぐという点では評価できる。運行収入が増えれば区の負担が下がるのか。

説明者：補填額は上限を定め、年度末に清算する。運行収入が増えれば区の負担は下がることになり、赤字が増えれば事業者の負担となる。

区長：バスのラッピングはどういうものになるのか。

説明者：豊島区らしいデザインをすることになる。

区長：区のイメージアップのために活用してもらいたい。

説明者：区の広告塔として有効に活用する。

(3) 結論

本年 4 月に、国際興業バスが運行している池 0 7 路線（池袋駅と江古田二又間を運行）の廃止申請が国土交通省に提出されたが、国際興業バスより豊島区からの財政支援を条件に出された新たな東口への路線延伸の提案内容について受け入れる。

案件 2 : 新型インフルエンザワクチン接種助成について

(1) 案件の説明

10月1日から新型インフルエンザ（A/H1N1）対策として「新たな臨時接種」への移行を前提とした「新型インフルエンザワクチン接種事業」が開始される。国は低所得者に対して接種費用を全額助成する方針であり、豊島区では生活保護世帯に加え、罹患した場合に重篤となるリスクが高く、2回接種が必要な1歳以上13歳未満の小児に対し、接種費用の半額を助成したい。

(2) 主な意見と質疑

説明者：去年は季節性のインフルエンザとは別に新型インフルエンザワクチンの接種が必要であったが、今年は合体したワクチンを接種することになる。

区長：第3回定例会の補正予算で行うのか。

説明者：額が固まらないので第4回定例会で行う予定である。

説明者：補正は第4回定例会を予定しているが、ワクチン接種は10月から開始のため、既定の予算の中で先行して行う。

教育長：流行予測はどうなっているのか。

説明者：流行予測から今回のワクチンになっている。

教育長：世界的な動向など情報を流通してもらいたい。

説明者：情報については逐次流す。

教育長：去年は学級閉鎖の関係で休日を返上して授業を行ったこともある。学校へ情報を流通しておかなければいけないし、保護者へも説明をしておく必要がある。

説明者：13歳未満は一番根幹に係る部分であるので、23区どこでも助成をする予定である。豊島区としても接種率を上げるため、インフルエンザに関する説明文を入れて予診票を各家庭に送付したいと考えている。

(3) 結論

新型インフルエンザ（A/H1N1）対策として10月1日から開始される「新たな臨時接種」への移行を前提とした「新型インフルエンザワクチン接種事業」において、生活保護世帯への全額助成に加え、罹患した場合に重篤となるリスクが高く、2回接種が必要な1歳以上13歳未満の小児に対し、接種費用の半額を助成する。

会議の結果	1. 国際興業バス池07路線延伸にについて	⇒決定
	2. 新型インフルエンザワクチン接種助成について	⇒決定

提出された資料等	1. 国際興業バス「池07路線」に係る経緯と延伸提案について 2. 新型インフルエンザワクチン接種助成について
----------	------------------------------------------------------------